

下水道だより

No.8

平成8年(1996年)9月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 下水道部 ◎電話 075(931)1111

進む公共下水道事業

9月10日は「全国下水道促進デー」

下水道は、市民に安全で快適な生活を確保し、河川・湖沼・海などの公共用水域の水質汚濁防止のための重要な役割を果たすとともに、浸水の防除(雨水の排除)などに必要不可欠な生活基盤施設です。市では、公共下水道事業を重要施策の一つに掲げ、快適なまちづくりに努めています。



到達式であいさつする岡崎市長

浸水地域の解消 雨水事業も本格化

市では、公共下水道の汚水事業を進める一方、浸水被害のないまちづくりのため、平成6年度から雨水事業に着手し、現在、寺戸川1号雨水幹線築造工事を行っています。寺戸川1号雨水幹線は、第4向陽小学校周辺の寺戸川流域の浸水対策を目的とし、地下約15メートルの道路下に、直径4・5メートルの管渠を延長623メートルにわたって築造するもので、この管渠には約1万立方メートルの水を貯めることができます。これは、集中豪雨などで寺戸川の水量が一定以上になると、地下に埋設した調整管渠に寺戸川からあふれる雨水を一時的に貯め、住宅地への浸水や道路・田畑の冠水を防ぐものです。そして、一時的に貯められた雨水は、晴天時に再び寺戸川にポンプ排水します。

本市の公共下水道事業(汚水事業)は、京都府の桂川右岸流域下水道の関連公共下水道として、昭和49年度にスタートしました。以後、積極的に事業の推進を図ってきた結果、平成7年度末の整備状況は、面積で約590ヘクタール、人口で約5万2950人で、市民の99・8パーセントの方が公共下水道を利用できるようになり、概ね完成の域に達しました。本市の人口普及率(99・8パーセント)は、京都府下平均73・6パーセント(京都市を除くと平均普及率42・4パーセント)を大幅に上回り、京都府下の市でトップの普及率となっています。

一方、公共下水道の利用(水酸化)状況をみると、平成7年度末で、約4万4720人の方が利用されており、その率(水酸化率)は84・5パーセントとなっています。

下水道使用料に 消費税

10月から

市では、快適な生活環境をつくるため、公共下水道事業を進めています。このほど下水道事業経営の健全化を図るため、下水道使用料に消費税(3パーセント)を転嫁することになりました。市民のみなさんには、ご負担をおかけすることになります。また、水道料金が改正されるとともに、水道料金にも消費税が転嫁されることになりました。

これらはいずれも、10月1日以降の検針分から適用されます。なお、上下水道料金の早見表は、後日、みなさんのご家庭にお配りする予定です。



下水道に関するお問い合わせは

●建設課

内線328・329

●管理普及課

内線331・332

「下水道いろいろコンクール」作品募集

㈱日本下水道協会、㈱日本水道新聞社(日本下水道新聞)では、下水道促進のムードを全国的に盛り上げることを目的に、「下水道いろいろコンクール」の作品を募集しています。募集要項は次のとおりです。

■ポスターコンクール

▷応募資格 小・中学生

▷応募規定 ①B4版～A2版以内とし、画材は問わない。「9月10日全国下水道促進デー」の文字を入れること。ただし、小学校1～3学年は文字を入れなくてもよい。②作品の裏面に学校名、学年、氏名を明記のこと。

■作文コンクール

▷応募資格 小・中学生

▷応募規定 ①小学生は600字～1600字以内、中学生は1600字～2000字以内。400字詰原稿用紙(タテ書)を使用のこと。ワープロ原稿は不可。②作品にはタイトルの他に学校名、学年、氏名を明記のこと。

■標語コンクール

▷応募資格 特に制限なし

▷応募規定 ①官製ハガキ1枚に作品1点。応募点数に制限なし。②作品には住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のこと。

■写真コンクール

▷応募資格 特に制限なし

▷応募規定 ①白黒、カラープリント何れでも可。サイズはキャビネ版～4切判。②応募点数に制限なし。単写真、組写真の区別を明記のこと。組写真は3枚以内。③作品には住所、氏名、年齢、職業、電話番号、撮影日時・場所、写真データ等を添付のこと。

■募集期限 平成8年11月30日(当日消印有効)

■送り先 〒102 東京都新宿区西新宿6-6-2

㈱日本水道新聞社出版企画部企画室

「下水道いろいろコンクール係」

☎03-3340-4731